

法 学 第 156 号
平成 28 年 5 月 9 日

各 私 立 学 校 長
 (高・特)
 高等課程を置く各私立専修学校長 } 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 28 年度福島県奨学資金（震災特例採用）奨学生の募集について
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。
なお、応募を希望される場合は、平成 28 年 7 月 29 日（金）までに必要書類を福島県
教育委員会あて直接申し込み願います。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

28教高第91号
平成28年4月25日

○各都道府県知事

各都道府県教育委員会教育長 様

福島県教育委員会教育長
(公印省略)

平成28年度福島県奨学資金(震災特例採用)奨学生の募集について(依頼)
当県の奨学資金事業につきましては、平素から御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

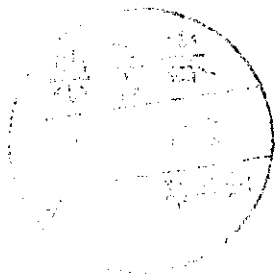
さて、当県教育委員会では、東日本大震災(平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所の事故による災害をいう。)により被災し、経済的理由により修学困難となった高校生、専修学校(高等課程)生及び特別支援学校(高等部)生の修学支援を図るため、奨学資金貸与を実施しています。

「震災特例採用」で貸与する奨学資金については、当県の復興を担う高校生等の将来により一層の負債を負わせ、経済的自立を遅らせることを避けるため、卒業後の奨学生本人の収入が基準額を超えない場合は、特例的に返還義務を免除することとしています。

つきましては、平成28年度奨学生を募集しますので、貴所管の高等学校等及び貴都道府県内にある国立・市立等の高等学校等に対し、保護者が福島県内に住所を有している生徒への周知及び希望者の推薦を別紙により依頼したく、貴職よりお知らせくださるようお願い申し上げます。



(事務担当 高校教育課 震災特例奨学資金担当 電話 024-521-7775)



別紙

1 推薦方法

別紙「推薦事務の手引き」により各学校において貸与希望者の申請書類を取りまとめの上、当職まで送付してください。

取りまとめに当たっては、別紙「申請書類チェックリスト」を活用してください。

※ 申請用紙等は、当課ホームページからもダウンロードできます。

(<http://www.koukou.fks.ed.jp/>)

※ 推薦に当たっては、貸与資格の要件を満たしていること、申請書類の記入漏れ、記入誤りや必要書類の不備のないことを十分に確認願います。

なお、御不明な点はお問い合わせください。

2 提出期限

平成28年7月29日(金) 必着

3 提出先・問合せ先

〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16

高校教育課「震災特例奨学資金担当」

電話 024-521-7775

FAX 024-521-7973

4 その他

① 募集案内が不足する場合は、コピーにより対応してください。

② 募集案内の表紙に学校用の締切日記入欄を設けていますので、学校における締切日を設定・記入して使用してください。

申請書類チェックリスト【学校向け】

※ 不備の多い項目に目印をつけてます。学校において申請書類のチェックにご使用ください。

すべての提出書類について

すべての提出書類	★ 記入漏れはないですか？
	★ 訂正がある場合、二重線と訂正印が押印されていますか？（修正液等不可）
	★ 下記の①、⑤、⑥の書類の本籍及び現住所は住民票謄本の記載どおりですか？ ★（特に○番地の○号や建物名は、簡略不可。記載のまま写してください。）
	★ コピーを添付するときは、A4用紙ですか？
	★ 提出書類は全て揃っていますか？
	<input type="checkbox"/> ① 福島県奨学生願書(第1号様式)
	<input type="checkbox"/> ② 福島県奨学生推薦調書(第2号様式)
	<input type="checkbox"/> ③ 震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書と、被災状況に応じた必要書類を添付
	<input type="checkbox"/> ※ ③に添付する罹災・被災証明書の住所が住民票で確認できない場合のみ、生徒本人の戸籍附票も提出
	<input type="checkbox"/> ④ 住民票謄本 今年度より追加
	<input type="checkbox"/> ⑤ 口座振替による支払申出書
	<input type="checkbox"/> ⑥ 誓約書(第3号様式)
<input type="checkbox"/> ⑦ (自宅外通学の申請時のみ)居住証明書	

① 福島県奨学生願書 について

本人本籍欄と 現住所欄 & 連帯保証人本籍欄と 現住所欄	<input type="checkbox"/> 住民票謄本の記載どおりに記入されていますか？（特に○番地の○号等は、簡略不可）
	<input type="checkbox"/> 現在居住している住所と住民票上の住所が異なる場合、願書の下の余白に現在居住している郵便番号と住所が記入されていますか？
	<input type="checkbox"/> 連帯保証人は、福島県に住民票のある親権者(成人の生徒は親権者でなくとも可)ですか？
家族の状況欄	<input type="checkbox"/> 住民票謄本の記載どおりですか？
参考事項欄	<input type="checkbox"/> 今年度貸与中や申請中の奨学金の有・無に○を忘れてませんか？ 不備 NO. 2
	<input type="checkbox"/> 収入計＝支出計になっていますか？
誓約欄	<input type="checkbox"/> 2名とも自筆署名ですか？ 捺印は2名とも別の印鑑ですか？

② 福島県奨学生推薦調書 について

推薦調書	<input type="checkbox"/> 日付、学校名、学(校)長名の記入、職印の押印はされていますか？
------	--

③ 震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書について

添付証明書	<input type="checkbox"/> 被災状況に応じて、必要書類は添付されていますか？ コピー(A4用紙)でも可。 今年度より追加
	<input type="checkbox"/> 罹災・被災証明書の住所は、住民票で確認できますか？ できない場合のみ、生徒本人の戸籍附票も提出
学校長証明欄	<input type="checkbox"/> 日付、学校名、学(校)長名の記入、職印の押印はされていますか？ 不備 NO. 3

④ 住民票謄本 について

住民票謄本	<input type="checkbox"/> 本籍が記載され、かつマイナンバーの記載のないものですか？ 今年度より追加
	<input type="checkbox"/> 3ヶ月以内に発行されたものですか？
	<input type="checkbox"/> 別居同居を問わず、同一生計者全員分の住民票謄本がありますか？

⑤ 口座振替による支払申出書 について

口座名義人欄	<input type="checkbox"/> 生徒本人(申請者)ですか？
住所欄	<input type="checkbox"/> 住所欄は、生徒の住民票謄本の記載どおりですか？ 不備 NO. 1
	<input type="checkbox"/> 「○○番地」、「○番地の○」等、正確に記入されていますか？
金融機関確認欄	<input type="checkbox"/> 金融機関の確認印はありますか？ ない場合は、A4用紙に通帳コピーし添付。ゆうちょ銀行だけはコピー添付必須
右下の署名欄	<input type="checkbox"/> 日付・生徒署名の記入と押印はありますか？
口座番号欄	<input type="checkbox"/> 口座番号の訂正があった場合、通帳コピー添付がありますか？

※ すべての項目にチェックがつかない場合は申請書類提出前に御連絡ください。(事務担当 高校教育課奨学資金担当 電話 024-521-7775)



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成28年度

福島県奨学資金《震災特例採用》

奨学生のご案内

福島県教育委員会では、東日本大震災により被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生を支援するため、福島県奨学資金《震災特例採用》の奨学生を募集します。

◆対象者 保護者が福島県内に住所を有し、東日本大震災（平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所の事故による災害）により被災し、下記のいずれかの事由により修学が困難な状況にある高校生、専修学校（高等課程）生及び特別支援学校高等部に在籍する生徒 ※1年生以外の学年の方も応募できます。

- ① 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合
- ② 警戒区域又は計画的避難区域内に居住して避難した場合
- ③ 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して市町村の判断により避難した場合
- ④ 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合
- ⑤ 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合
- ⑥ その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合で、学校長が特に必要と判断し県教育委員会が認める場合

◆貸与月額

国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

※ 保護者と同居の場合は自宅通学扱い

◆貸与期間

平成28年4月～平成29年3月

◆返還

卒業から6ヶ月経過後より7～8年間で返還
ただし、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込み（税等控除前）が一定額を超えない場合、願出により返還義務を免除します。

《返還免除基準となる年間収入見込額》

高校等卒業の場合（進学者を除く）	330万円未満
短大・専門学校に進学し、	
卒業した場合	360万円未満
大学に進学し、卒業した場合	390万円未満

◆貸与方法

書類選考・採用決定後、年間2回に分けて奨学生本人の口座に振込み

◆利子

無利子

◆保証人

連帯保証人1名（原則保護者）

◆申込方法

願書に必要書類を添付し、在学する学校へ申し込んでください。申込み手続き等については、学校へお問い合わせください。

◆申込締切

・学校への申込締切

平成28年 月 日()

・学校から県教委への提出締切

平成28年7月29日(金)必着

<必要書類>

1. 福島県奨学生願書(第1号様式)

- ① 記載にあたっては「記載例」及び願書裏面の「記載上の注意」をよく読み、読みやすい字で記入してください。
- ② 本籍及び現住所は住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。
- ③ 申請者及び連帯保証人について、現在居住している住所が住民票上の住所と異なる場合は、願書の下
の余白に、現在居住している住所を記入してください。
(例 申請者:〇〇市〇〇町1-1 仮設住宅101号)
- ④ 連帯保証人は、県内に住所を有する親権者等(父、母または未成年後見人)となります。
- ⑤ 保証人の欄は記入する必要はありません。
- ⑥ 記入誤りを訂正する場合は、二重線を引き、その上に押印してから余白に記入してください(修正ペン、修正テープは使用不可)。

2. 福島県奨学生推薦調書(第2号様式)

- ※ 在学している学校が記載するものです。
- ※ 学校の方へ:出身(在学)学校の成績欄は記入不要です。

3. 震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

- ① 記載にあたっては「記載例」をよく読み、あてはまる被災状況のすべてにチェックをつけてください。
- ② 被災状況に応じて、次の書類を1項目分添付してください。

被災状況	必要書類(※何れも写しで可)
ア 自宅被害(全壊・半壊等) ※ 一部損壊は対象外	罹災証明書(被災証明書は不可)
イ 警戒区域又は計画的避難区域に居住していて避難した場合	被災証明書又は罹災証明書
ウ 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住していて避難した場合	・被災証明書又は罹災証明書 ・特定避難勧奨地点に指定された地点に居住していて避難した場合は、その旨が確認できる書類
エ 主たる生計支持者の死亡等	・被災証明書又は罹災証明書 ・重篤な障がい・疾病を負った場合 医師の診断書、障害者手帳等、状況が確認できる書類をいずれか一つ(死亡・行方不明の場合は特に不要)
オ 主たる生計支持者の収入の著しい減少 (失業又は50%程度以上の収入の減少)	・被災証明書又は罹災証明書 ・平成23~28年度の所得証明書(6年間分) ・震災が原因の失業/収入減の場合 失業/収入減が確認できる書類

4. 住民票謄本(本籍記載の世帯票)

- ① 同一生計の方全員分です。別居している方も提出になります。
- ② 住民票で罹・被災証明書の住所が確認できない場合のみ、生徒本人の戸籍附票も提出してください。
- ③ マイナンバー(個人番号)の記載のないものを提出してください。戸籍謄本や広域住民票は不可です。
- ④ 生徒本人が保護者と別居し、かつ、住民票と異なる住所に居住している場合は、必ず「居住証明書」を提出してください。※居住先の管理者から証明を受けてください。

5. 口座振替による支払申出書(ゆうちょ銀行の場合は見開き1ページ目のコピーを必ず添付)

- ① 奨学資金申請者本人名義となります。
- ② 金融機関で金融機関名、口座番号等の確認を受けてください。
(金融機関の確認を受けることが出来ない場合や口座番号訂正した場合は、通帳の銀行名/支店又は支店番号/口座番号/カナ名義が確認できる部分のコピーを添付してください。)
- ③ 用紙右下の署名・捺印を忘れずに行ってください。

6. 誓約書

- ① 奨学資金申請者が記入・押印してください。
- ② 本籍及び現住所は「1. 福島県奨学生願書」と同様、住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。

平成28年度福島県奨学資金《震災特例採用》Q&A

《目次》

I 貸与について

- [Q1] 自主避難により転居・転校しましたが、申し込むことはできますか。
- [Q2] 風評被害により主たる生計支持者である父親の勤務先の経営が悪化し、収入が減少しましたが、申し込むことはできますか。
- [Q3] 警戒区域から避難し、県外の高校に在学していますが、申し込むことはできますか。
- [Q4] 警戒区域等から避難し、避難指示解除後、自宅に戻った場合でも申し込むことはできますか。
- [Q5] 主たる生計支持者である父親が勤務先の被災により失業し、現在は再就職していますが、申し込むことはできますか。
- [Q6] 現在、県奨学資金（在学採用または予約採用）の貸与を受けていますが、申し込むことはできますか。
- [Q7] 貸与月数はどのようになるのですか。
- [Q8] 他の奨学金との併願や併用はできますか。
- [Q9] 来年度以降も継続して借りられますか。
- [Q10] 奨学生に採用された後、福島県外に住民票を異動した場合、奨学金は継続して借りられますか。

II 返還について

- [Q11] 願出により返還免除となるのはどのような場合ですか。
- [Q12] 返還免除までにはどのような手続きが必要ですか。
- [Q13] 返還免除とならないのはどのような場合ですか。
- [Q14] 返還免除基準に該当すれば、過去に貸与された震災特例採用以外の県奨学資金についても願出により免除されるのですか。

I 貸与について

- [Q1] 自主避難により転居・転校しましたが、申し込むことはできますか。
- [A] 震災特例採用の対象とはならないため、申し込むことはできません。
原子力災害を原因とする避難者については、次の場合のみ対象となります。
- ・ 警戒区域又は計画的避難区域内の住民
 - ・ 緊急時避難準備区域に指定されていた区域又は屋内退避指示が出ていた区域の住民であって、市町村の判断により避難した者
 - ・ 特定避難勧奨地点に指定された地点の住民であって、避難した者
- [Q2] 風評被害により主たる生計支持者である父親の勤務先の経営が悪化し、収入が減少しましたが、申し込むことはできますか。

[A] 震災特例採用の対象とはならないため、申し込むことはできません。

[Q 3] 警戒区域から避難し、県外の高校に在学していますが、申し込むことはできますか。

[A] 申請日現在、保護者の住所地が県外にある場合は申し込むことはできません。保護者の住所地が引き続き県内にある場合は申し込みできます。

[Q 4] 警戒区域等から避難し、避難指示解除後、自宅に戻った場合でも申し込むことはできますか。

[A] 引き続き経済的に修学が困難な状況にある場合は申し込みできます。

[Q 5] 主たる生計支持者である父親が勤務先の被災により失業し、現在は再就職していますが、申し込むことはできますか。

[A] 再就職後の収入が、震災前に比べて著しく減少し、かつその後も改善していない場合は申し込みできます。(震災前の50%以上の減少)

[Q 6] 現在、県奨学資金(在学採用または予約採用)の貸与を受けていますが、申し込むことはできますか。

[A] 震災特例採用の要件に該当する場合は、申し込むことができます。

ただし、震災特例採用の奨学資金が貸与される場合、現在貸与を受けている県奨学資金と重複して貸与を受けることはできません。必要な手続きを経て震災特例採用の奨学資金に切り替えることが可能なので、学校を通じて県高校教育課へお問い合わせください。

[Q 7] 貸与月数はどのようになるのですか。

[A] 平成28年4月分から平成29年3月分の最大12ヶ月分について貸与を希望することができます。

[Q 8] 他の奨学金との併願や併用はできますか。

[A] 他の貸与型奨学金とは併用できません。

なお、給付型奨学金については、併用して構いません。

[Q 9] 来年度以降も継続して借りられますか。

[A] 貸与期間は原則として1年間であり、平成29年度以降の本奨学資金の実施については、未定となっております。

[Q10] 奨学生に採用された後、福島県外に住民票を異動した場合、奨学金は継続して借りられますか。

[A] 奨学生本人の住民票の住所が福島県外に異動しても、奨学金の貸与は継続できます。ただし、連帯保証人(原則保護者)の住民票を福島県外に異動した場合、その時点で奨学生の資格を喪失する場合があります。連帯保証人の住所変更の際には、事前に高校教育課までご連絡ください。

II 返還について

[Q11] 願出により返還免除となるのはどのような場合ですか。

[A] 高校又は専修学校（高等課程）を卒業した場合は、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込みが330万円未満の場合が対象となります。

ただし、短大や専門学校に進学した場合は卒業時点で360万円未満、大学等に進学した場合は卒業時点で390万円未満の場合が対象となります。

[Q12] 返還免除までにはどのような手続きが必要ですか。

[A] 主な手続きは次のとおりです。詳しくは、貸与決定時にしおりをお渡しします。

【在学中の手続き】

① 貸与期間終了時に、在学する学校を通じて「借用証書」及び「返還明細書」を県教育委員会に提出

【卒業後の手続き】

② 上級学校等に進学した場合は、在学証明書を添えて「返還猶予願」を県教育委員会に提出

③ 卒業後（上級学校等に進学した場合はその卒業後）に、本人の1年間の収入見込み額がわかる書類（例：勤務先の証明を受けた給与等見込証明書）を添えて「返還免除願」を県教育委員会に提出

[Q13] 返還免除とならないのはどのような場合ですか。

震災特例奨学資金を貸与された方が高校等を退学した場合、返還免除は認められません。

また、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込みが基準額を超える場合は、奨学資金を返還する十分な資力があると認められるため、返還免除は認められません。

[Q14] 返還免除基準に該当すれば、過去に貸与された震災特例採用以外の県奨学資金についても願出により免除されるのですか。

[A] 今回の返還免除は、震災で被災し経済的に修学が困難となった生徒に奨学資金を貸与することにより、県の震災後の復興を担う奨学生の将来に一層の負債を負わせることが、震災特例採用を実施する趣旨に反することから特例的に行うものですので、それ以外の採用区分（在学採用、予約採用、緊急採用）には適用されません。

例) 26・27年度に震災特例採用決定・奨学資金貸与

28年度に大学に入学し、県奨学資金(大学)を貸与

→ 26・27年度分に限り、返還免除基準に該当する場合は願出により免除

申請書類チェックリスト

願書記入前にお読みください

【ご家庭で用意するもの】

- | | |
|----------------------------|--|
| ① 印鑑2本 | 生徒=申請者と保護者=連帯保証人は、別の印鑑(銀行印でなくて可)を使用。 |
| ② 住民票謄本(3ヵ月以内発行) | 本籍地記載でマイナンバーの記載のないもの。同一生計者全員分が必要。 |
| ③ 被災に関する証明書 | 下記★を参照。被災状況によって必要書類が違います。 |
| ④ 生徒本人名義の銀行口座と通帳のコピー(A4用紙) | ゆうちょ以外の金融機関を振込先にした場合のみ、その金融機関で確認印を受ければ、通帳コピーは不要です。 |

【記入時の注意】

- ① 各書類の記載例(別紙)を必ずご確認ください。※色の濃い吹出しは、特に間違いやすい項目です。
- ② 訂正は、二重線の上に押印し余白に記入してください。(修正液や修正テープは不可)
- ③ コピーを添付する際は、A4用紙に統一してください。
- ④ すべての書類の「本籍」と「現住所」欄は、番地等を簡略せず住民票の記載どおりに写してください。(※一番間違いが多い箇所です。差し戻しで期限切れにならないようご注意ください。)
- ⑤ 兄弟等で同時申請がある場合は、生徒ごとに別の印鑑を使用してください。(印鑑の共用は不可)

【記入・提出する書類】 記入終了後、そろっているか□に✓ チェックしましょう

<input type="checkbox"/>	第1号様式 福島県奨学生願書(両面)
<input type="checkbox"/>	第2号様式 福島県奨学生推薦調書 (※学校によっては、家庭にお渡ししない場合があります)
<input type="checkbox"/>	震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書
<input type="checkbox"/>	★添付する証明書(コピーでも可) 自宅被害(全半壊等)の場合 → 罹災証明書 H23当時自宅が警戒区域等に指定され避難した場合 → 罹災証明書or被災証明書 その他の場合 → 高校教育課にお尋ねください
<input type="checkbox"/>	住民票謄本 ・住民票で★の住所が確認できない場合のみ、生徒本人の戸籍附票も提出
<input type="checkbox"/>	口座振替による支払申出書(生徒名義の口座のみ) 今年度より追加されました
<input type="checkbox"/>	通帳のA4コピー ・ゆうちょ銀行は、見開き1頁目のコピーを必ず添付! ・他の金融機関は、銀行名/支店又は支店番号/口座番号/カナ名義が確認できる頁のコピー(※各金融機関で確認受ければコピー不要)
<input type="checkbox"/>	第3号様式 誓約書
+	
<input type="checkbox"/>	居住証明書 ※自宅外通学の申請者のみ提出(自宅通学者は不要)



そろったら、早めに学校へ提出しましょう
 (必要に応じて追加の書類の提出を求める場合があります)

第1号様式 (第1条関係)

(表)

福 島 県 奨 学 生 願 書		※受付番号								
		※法定番号		高・大 第 号						
		ふりがな				性別				
		氏 名								
生年月日		年 月 日 (満 歳)								
在 学 校	立		本 籍							
	部 制 科 学年		現 住 所		電話番号 ()					
同上の所在地		希望事項		貸与月額 円						
				貸与期間 年 月から 年 月まで						
				大学等入学一時金 円						
家 族 の 状 況	氏 名 (生計維持者と別居している者にはX印をつけること。)	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 学 校 先	疾病の有無	収入(税込)額 千円	所得(税込)額 千円	※	
	1	本人								
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
計	名									
連 帯 保 証 人	ふりがな					ふりがな				
	氏 名					氏 名				
	生年月日	年 月 日 (満 歳)				生年月日	年 月 日 (満 歳)			
	本人との続柄		年間収入(税込)	千円		本人との続柄		年間収入(税込)	千円	
	本 籍					本 籍				
	現 住 所	電話番号 ()				現 住 所	電話番号 ()			

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

(裏)

参 考 事 項	奨学金を希望する理由					
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有	修学のための資金の名称		資金の種類	
					貸与・給付	
		無			貸与・給付	
				貸与・給付		
	本人の履歴	年 月 日	履 歴			
		年 月 日	立 中学校入学			
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
年 月 日						
年 月 日						
1カ月当たりの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考	
	家 庭 か ら	円	生 活 費	円		
	アルバイト等から	円	交 通 費	円		
	県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円		
	そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円		
			そ の 他	円		
	計	円	計	円		
<p>以上の記載事項に相違ありません。 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。</p> <p>上記のとおり保証人と連署して誓約します。</p> <p>年 月 日</p> <p>福島県教育委員会教育長</p> <p style="text-align: right;">申請者 (自筆) ㊟</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人 (自筆) ㊟</p> <p style="text-align: right;">保証人 (自筆) ㊟</p>						

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

奨学生願書（兼）の記載例【震災特例】

今年度貸与または申請中の奨学金名を記入して、奨学金の種類を○で囲んでください。
※「高校生等奨学給付金」は記入不要。

中学校入学から現在までの状況を記入してください。

記入日を忘れずに

奨学金を希望する理由	例) 東日本大震災で自宅が全壊したことにより、家計の支出が著しく増大したため。 東日本大震災で自宅及び父の勤務先が原発事故の警戒区域となり、父が失業。現在は〇〇市に家族で避難しているが、家計が苦しいため。		
参加している、又はこれから受けようとする奨学金の種類	修学のための資金の名称	奨学金の種類	
有	〇〇市奨学金(申請中)	貸与・給付	
無		貸与・給付	
本人の履歴	年 月 日	履 歴	
	H25年 4月 〇日	〇〇中学校入学	
	H26年 4月 〇日	〇〇中学校転学	
	H28年 3月 〇日	〇〇中学校卒業	
	H28年 4月 〇日	△△県立 △△高等学校入学	
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
1カ月当たりの平均学費(収入=支出)	入	出	備考
家 庭 か ら	円 生 活 費	円 費	
アルバイト等から	円 交 通 費	円 費	
果奨学資金から	円 学 校 納 付 金	円	
その他から	円 書 籍 ・ 学 用 品	円	
	そ の 他	円	
計	23,000 円	23,000 円	

以上の記載事項に相違ありません。福島県奨学生として採用された場合は、福島県奨学生としての責務をはたすこととはもとより、上記のとおり保証人と連署して誓約します。

「収入計」=「支出計」としてしてください。

入学金は除く。

①必ず自筆で署名。
②申請者(生徒)と連帯保証人は、別々の印鑑で押印してください。(印影が不明な場合は、余白に押し直し)

申請者 (自筆) 福島 太郎
連帯保証人 (自筆) 福島 大介
保証人 (自筆) 大

28 年 〇 月 〇 日
福島県教育委員会教育長

東日本大震災で被災した状況と現在の家計状況を簡潔に記入してください。

入学金は除く。

①必ず自筆で署名。
②申請者(生徒)と連帯保証人は、別々の印鑑で押印してください。(印影が不明な場合は、余白に押し直し)

「収入計」=「支出計」としてしてください。

申請者 (自筆) 福島 太郎
連帯保証人 (自筆) 福島 大介
保証人 (自筆) 大

28 年 〇 月 〇 日
福島県教育委員会教育長

福島県奨学生推薦調書													
氏名		在学 学校				立				部 制 科 年			
出身（在学） 学校の成績	教科												
	年												
	年												
	教科												成績 平均値
	年												
	年												
推薦所見 〔学力〕 〔人物〕 〔家庭状況〕													
参考事項		(在学学校の学業成績の席次 人中 位)											
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">学校長（学長） 印</p> <p>福島県教育委員会教育長</p>													
※ 判定													

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

在学する学校で作成してください

記入もれ注意。
全日制/定時制/通信制の記入
 もお願いいたします。

「推薦所見」の欄は、申請者の学力、人物、家庭状況等の観点から記入してください。

「参考事項」の欄は、特になければ無記入で結構です。

日付、学校名、校長名の記入と職印の押印を、忘れずにお願いたします。

福島県奨学生推薦書		部 〇〇科 1年	
氏名	福島 太郎	〇〇県立 〇〇〇〇高等学校	全日制
出身(在学)学校の成績	在学学校	〇〇県立 〇〇〇〇高等学校	〇〇科 1年
	教科	国語	保健体育
	理科	社会	技術家庭
	数学	美術	音楽
	英語	英語	英語
	学年	学年	学年
	教科	教科	教科
	学年	学年	学年
	成績	成績	成績
	平均値	平均値	平均値
推薦所見	学力 人物 家庭状況		
参考事項	(在学学校の学業成績の席次 人中 人位)		
	上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。		
	平成〇〇年 〇月 〇日	〇 〇 〇	〇 〇 〇
	△▽県立 ▲▽▲高等学校 学校長 (学長)	〇 〇 〇	〇 〇 〇
	福島県教育委員会教育長		
※ 判定			

記載上の注意
 (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
 (2) この推薦書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
 (3) 「出身(在学)学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

福島県教育委員会教育長

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被災状況等については下記のとおりです。

平成 年 月 日

ふりがな 申請者氏名	
学校・学年	学校・ 年

あてはまる被災状況すべての口に✓をつけ、そのうち1項目分の証明書等(写しで可)を添付してください。

震災後の転居等	<input type="checkbox"/> 転居や避難なし <input type="checkbox"/> 転居や避難あり ※異動された市町村名を順に記入↓ ① ② ③ ④	
1 自宅被害	<input type="checkbox"/> 全壊又は半壊(一部損壊は対象外) <input type="checkbox"/> その他全半壊に準ずる被災()	罹災証明書を添付
2 避難区域に指定され避難した	<input type="checkbox"/> 警戒区域又は計画的避難区域から避難	罹災証明書又は被災証明書を添付 ※特定避難勧奨地点の場合は、その旨確認できる書類を添付してください。
3	<input type="checkbox"/> 緊急時避難準備区域又はその他()から避難	
4 主たる生計維持者の死亡等	<input type="checkbox"/> 死亡 父 母 其 他 () <input type="checkbox"/> 行方不明 <input type="checkbox"/> 重篤な障がい・疾病	罹災又は被災証明書を添付 ※重篤な障がい・疾病を負った場合は、診断書等も添付してください。
5 主たる生計維持者の収入の著しい減少	<input type="checkbox"/> 著しく減少し改善していない(目安50%以上の減少) 震災前の年収()円 ※税等控除前の額 震災後の年収()円 ※税等控除前の額 自 営 (業 種:) 自営以外 (勤務先:) 失 業 (離職年月日:) 世帯全体の収入の状況	罹災又は被災証明書を添付 ※この項目だけで申請される方のみ、平成23年度～平成28年度の6年間分の所得証明書(原本)と、失業や収入減が確認できる書類も添付してください。
6 学校長が特に経済的支援を必要と認める場合の理由	上記項目以外の特記事項があれば記入してください。	

学校長証明	上記のとおり相違ありません。
	平成 年 月 日
	学校名 _____ 学校長 _____ 印

震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

福島県教育委員会教育長

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被災状況等については下記のとおりです。

平成28年 ○ 月 ○ 日

申請者氏名	福島 太郎
学校・学年	△▽ 県立 ▲▽▲高等 学校・1年

あてはまる被災状況すべての□に✓をつけ、そのうち1項目分の証明書等(写しで可)を添付してください。

震災後の転居等	<input type="checkbox"/> 転居や避難なし <input checked="" type="checkbox"/> 転居や避難あり ※異動された市町村名を順に記入↓ ① 新潟市 ② 福島市 ③ ④	
1 自宅被害	<input checked="" type="checkbox"/> 全壊又は半壊 (一部損壊は対象外) <input type="checkbox"/> その他全半壊に準ずる被災(罹災証明書を添付
2 避難区域に指定され避難した	<input checked="" type="checkbox"/> 警戒区域又は計画的避難区域から避難 <input type="checkbox"/> 緊急時避難準備区域又はその他()から避難	H23当時の区域が不明の時は、被災当時の市町村にはお尋ねください。 は 添付
3		六町は避難開始地点の場合は、その旨確認できる書類を添付してください。
4 主たる生計維持者の死亡等	<input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 行方不明 父 母 その他() <input type="checkbox"/> 重篤な障がい・疾病	罹災又は被災証明書を添付 ※重篤な障がい・疾病を負った場合は、診断書等も添付してください。
5 主たる生計維持者の収入の著しい減少	<input type="checkbox"/> 著しく減少し改善していない (目安50%以上の減少) 震災前の年収 (円) ※税等控除前の額 震災後の年収 (円) ※税等控除前の額 自 営 (業 種:) 自営以外 (勤務先:) 失 業 (離職年月日:) 世帯全体の収入の状況	罹災又は被災証明書を添付 ※この項目だけで申請される方のみ、平成23年度～平成28年度の6年間分の所得証明書(原本)と、失業や収入減が確認できる書類も添付してください。
6 学校長が特に経済的支援を必要と認める場合の理由	上記項目以外の特記事項があれば記入してください。 事前に相談ください。	

学校長証明	上記のとおり相違ありません。	「学校長証明」は在籍している学校で記入と職印の押印をお願いします。
	平成 28年 ○ 月 ○ 日	
	学校名 △▽県立 ▲▽▲高等学校 学校長 ○ ○ ○ ○	
		<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 印 </div>

口座振替による支払申出書 [債権者登録(変更) 申請書]

【福島県学費金震災特例用】

福島県財務

区分	処理	債権者コード
4	0	1

c#	注: 姓と名の間は1文字あけて記入してください																										
2	フリガナ																										
	生 徒 氏 名																										
	フリガナ																										
	氏 名 2																										

c#	執行機関	会社区分	住所コード	郵便番号
1	フリガナ			

注: 都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目(県外の場合は区市町村まで)を記入してください

c#	住民票住所	フリガナ	番 地	方 書
2	フリガナ			
	フリガナ			

注: ビル名、アパート名等を記入してください

c#	支払方法
3	1. 口座振替

金融機関名	店 舗 名	金融機関コード
預金種別(※貯蓄口座は利用できません)	口座番号(右つめ)	
1. 普通預金 又は 総合口座		
口座名義人(カナ)		

備考

執行機関名 高校教育課

決定番号	学校名
28 特例第	
号	

記入上の注意

- 1 色のついた欄を記入してください。
- 2 生徒の住所を記載し、七のまま写してください。
- 3 右下の生徒署名/日付/捺印のものを注意。
- 4 振込についての連絡先電話番号を記入。

電話番号																
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

注: 市外局番からハイフンつけて記入してください

※金融機関へお願いについて

金融機関は、左記の金融機関名、店舗名、金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ)について確認及び記入のうえ下記確認欄に確認印を押印願います。

金融機関確認欄	
確認日	確認者印
金融機関名	
店舗名	

福島県知事

上記のとおり申請します。

平成	年	月	日
氏名印			

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のコピー(A4用紙)を必ず添付してください。(金融機関確認は不要)
 ※ ゆうちょ以外の金融機関は、通帳(銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁)のA4コピーを添付か、又は各金融機関での確認を受けてください。

口座振替による支払申出書〔債権者登録(変更)申請書〕

【福島県奨学資金震災特例用】

執行機関名 高校教育課

〈記載例〉

C#	姓と名の間は1文字あけて記入してください
2	フリガナ フクシマ タロウ 生 徒 氏 名 福 島 太 郎 フリガナ 氏 名 2

C#	執行機関	会社区分	住 所 コー ド	郵便 番号
1			9 6 0 - 8 6 8 8	
	フリガナ	フクシマ	フクシマ	フクシマ
	住民票住所	福 島	福 島 市 杉 妻 町	
	注:	番地を省略せず記入してください(県外の場合は大字以下の住所を記入願います)		
	フリガナ	2 ハツチノ16ゴウ	番 地 2 番 地 の 1 6 号	

「住所 番地 方書」は、住民票どおりに記入されてますか?
特に「〇〇番地の〇号」の「番地」「の」「号」「建物名」は、記載をそのまま写してください!

誤 → 「△市△2-16」(簡略不可)

C#	注: ビル名、アパート名等を記入してください
3	フリガナ ケンエイズギツマダンチエートウ201ゴウキンシツ 方 書 県 営 杉 妻 団 地 A 棟 2 0 1 号 室

C#	支払方法	金融機関	支 店 名	金融機関コード	口座番号(右つめ)
1	1. 口座振替	東邦銀行	県庁支店		0 0 9 9 9 9 9
		注: 口座番号は利用できません			0 0 9 9 9 9 9
	1. 普通預金 又は 総合口座		口 座 名 義 人 (カ ナ)		
			フクシマ タロウ		

※ ゆうちょ銀行の通帳に口座番号の記載が無い場合は、余白に「記号」「番号」を記入。
(例) 記号18280 番号999991

決定番号	学校名
28 特例第	▲▽▲高等学校
号	

記入上の注意

- 色のついた欄を記入ください。
- 生徒の住民票住所を記載しており、そのまま写してください。
- 右下の生徒署名/日付/捺印のものもれ注意。
- 振込についての連絡先電話番号を記入。

日中連絡可能な電話番号を記入。

番からハイフンつけて記入してください

0	9	0	-	1	2	3	4	-	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

矢印の先の ※ を読んで、必要な場合は、各金融機関で確認を受けてください。

金融機関	金融機関確認欄
機 関 コー ド	機 関 コー ド
(カナ) について確認及び記入欄に確認印を押し願います。	
確認日	確認者印

生徒署名・捺印と日付記入を忘れずに!

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のコピー(A4用紙)を必ず添付してください。(金融機関確認は不要)
※ ゆうちょ以外の金融機関は、通帳(銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁)のA4コピーを添付、又は、各金融機関での確認を受けてください。

福島県知事 上記のとおり申請します。 平成28年 〇 月 〇 日	氏名 福島 太郎 印
--	------------

第3号様式

誓 約 書

私は、福島県奨学生として、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規定に従い、奨学生としての本分をつくすことを誓約します。

年 月 日

本籍地

本人 現住所

氏 名

印

福島県教育委員会教育長 様

居 住 証 明 書

※自宅外通学申請者
のみ提出ください

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

2 住居の所在地

3 居住の期間

年 月 日から現在（平成 年 月）まで

平成 年 月 日

証明者（住居の所有者又は貸主、学校寮は学校）

住所

氏名

印



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成28年度

福島県奨学資金《震災特例採用》

推薦事務の手引き

この手引きは、高等学校及び専修学校（高等課程）に在学している者の福島県奨学資金『平成28年度震災特例採用』申込にかかる学校における事務処理方法及び注意事項についてまとめたものです。

福島県教育委員会

平成28年4月

目 次

1	募集について	1
I	対象となる者	1
II	貸与を受ける者の資格	1
III	奨学資金の月額	2
IV	推薦基準	2
V	貸与の始期及び期間	2
VI	申請書類の提出	2
VII	選考及び奨学生の決定	4
VIII	奨学資金の振込	4
参考	奨学資金の返還免除	4
2	推薦について	5
I	推薦基準	5
3	願書・推薦調書の作成について	6
I	奨学生願書	6
II	推薦調書	6
4	返還免除までの手続き	7
I	返還免除までの手続き	7
II	奨学資金の返還猶予	7
III	奨学資金の返還免除	7
[様式・記入例]		
○	福島県奨学生願書	8
○	福島県奨学生推薦調書	12
○	震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書	14
○	口座振替による支払申出書	16
○	誓約書	18
○	居住証明書（参考様式）	19

1 募集について

I 対象となる者

保護者が福島県内に住所を有し、東日本大震災（平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所の事故による災害をいう。以下同じ。）により被災し、下記のいずれかの事由により修学が困難となった高校生又は専修学校（高等課程）生

- (1) 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合
- (2) 警戒区域又は計画的避難区域内に居住して避難した場合
- (3) 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して市町村の判断により避難した場合
- (4) 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合
- (5) 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合
（「著しく」：50%程度以上の減少。一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）
- (6) その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合で、学校長が特に必要と判断し県教育委員会が認める場合
（一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）

II 貸与を受ける者の資格

奨学資金は、次に掲げる要件を具備している者に対して、申請に基づき貸与する。

- 一 品行が正しく、かつ、学術に優れていること。
- 二 次のアからウまでに掲げる者の区分に応じ、当該アからウまでに定める要件を具備していること。
 - ア 県内に所在する高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）若しくは専修学校の高等課程（機械又は装置の修理、保守又は操作、製造、加工、建設、医療、栄養の指導、保育、経理その他これらに類する職業に必要な教授を目的とする修業年限二年以上の専修学校の高等課程で教育委員会で定めるものに限る。以下同じ。）に在学する者（略）その者が県内に引き続き六月以上住所を有していること。
 - イ 県外に所在する高等学校若しくは専修学校の高等課程に在学する者（略）その者が当該県外に所在する高等学校、専修学校の高等課程（略）に入学し、又は転学するまで県内に引き続き六月以上住所を有しており、かつ、その者の生計を主として維持する者又はこれに準ずると認められる者が県内に引き続き六月以上住所を有していること。
 - ウからエ（省略）
- 三 経済的理由により修学が困難であると認められること。
- 四 同種類の修学のための資金を他から受けていないこと。

福島県奨学資金貸与条例（抜粋）

1 申し込みできる者は、高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）又は専修学校の高等課程（福島県教育委員会で定める専修学校に限る。）の生徒に限ります。

※ 以下の者は原則として申し込みできませんので、注意願います。

- ・主たる生計支持者（保護者）が県内に6ヶ月以上住所を有していない者
- ・推薦基準外の者（→IV 推薦基準）
- ・他の貸与型奨学金を受けている者

※ 現在、福島県奨学資金を貸与されている者について

申し込みできますが、採用決定された場合、震災特例奨学資金の貸与を受ける期間は、先に貸与決定されている県奨学資金は休止となり、併せて貸与を受けることはできませんのでご注意ください。

2. 専修学校の高等課程で県教育委員会で定めるものとは、次の条件をすべて満たす高等課程の学科のことです。
- (1) 職業に必要な技術の教授を目的とする学科（工業、農業、医療、衛生、教育、社会福祉若しくは商業実務の分野に属する全学科又は服飾、家政、文化、教養の分野のうち、デザイン、写真、外国語、音楽若しくは美術に関する学科であること。）
 - (2) 修業年限が2年以上の学科
 - (3) 授業が年2回を超えない一定の時期に開始され、かつ、その終期が明確に定められている学科

Ⅲ 奨学資金の月額

区 分	国・公立	私 立
自宅通学のとき	18,000円	30,000円
自宅外通学のとき	23,000円	35,000円

※ 保護者と同居の場合は自宅通学として扱います。

Ⅳ 推薦基準

- 1 学力について
高等学校又は専修学校の高等課程に在学している者で勉学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると当該学校長が認める者。
- 2 家計について
東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当する事由で家計が急変したことにより修学が困難であり、緊急に奨学金の貸与が必要であると当該学校長が認める者。
 - (1) 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合
 - (2) 警戒区域又は計画的避難区域内に居住して避難した場合
 - (3) 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して市町村の判断により避難した場合
 - (4) 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合
 - (5) 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合（「著しく」：50%程度以上の減少。一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）
 - (6) その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合で、学校長が特に必要と判断し県教育委員会が認める場合（一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）

Ⅴ 貸与の始期及び期間

- 1 貸与の始期は、家計急変の事由が生じた月以降で申込者が希望する月とします。
※ 申込者が希望する月は、申請年度の範囲内（平成28年4月以降）とします。
- 2 貸与の期間は、上記貸与開始期から採用年度末（平成29年3月）までとします。
※ 平成29年度以降の本奨学金の実施については、未定となっております。

Ⅵ 申請書類の提出

推薦に際しては、申請者から次に掲げる書類を提出させ、学校側で作成する「福島県奨学生推薦調書（第2号様式）」を添付のうえ、県教育委員会に平成28年7月29日（金）【必着】までに提出してください。

なお、提出にあたっては、記入例や注意事項等をよく読んだ上で、所要事項を正確に記入させるとともに、記入事項、押印（本人・連帯保証人がそれぞれ異なる印を押すこと）の有無を確かめてください。

[申請者が提出する書類]

(1) 福島県奨学生願書(第1号様式)

- ア 記載にあたっては「記載例」及び願書裏面の「記載上の注意」をよく読み、読みやすい字で記入してください。
- イ 本籍及び現住所は住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。
- ウ 申請者及び連帯保証人について、現在居住している住所が住民票上の住所と異なる場合は、願書の下余白に、現在居住している住所を記入してください。

例) 申請者 : 〒 ○○市○○町1番地の1 □□高等学校△△寮
 連帯保証人 : 〒 ××市××町2番地5 仮設住宅101号

エ 家族の状況欄は、申込時の状態で次のとおり記入してください。

- ① 同居・別居を問わず、生計を一にする家族を記入してください。
- ② 次の場合は、同一の住居に居住していなくても、同一世帯員として記入してください。
 - ・ 主たる家計支持者が出稼ぎ又は勤務地の関係で別居しているとき。
 - ・ 就学又は病気療養等のため一時別居しているとき。
 - ・ 主として扶養している別居の祖父母。
 - ・ その他上記のいずれかと同様の状態にあるとき。
- ③ 別居独立している兄弟姉妹及び生計を一にしない別居の祖父母は記入不要です。
- ④ 震災後、転職等により収入源に変動があった者については、申込時現在の状態で、申込年の収入金額を推算してください(千円未満の端数が生じたときは、切り捨ててください。以下同じ。)失業中の場合は、失業前の職業による収入は算入せず、失業給付金受給中又は受給予定の場合は、受給(見込)額を収入とみなし、所得金額に算入してください。

オ 連帯保証人は、県内に住所を有する親権者等(父、母または未成年後見人)となります。

カ 保証人の欄は記入する必要はありません。

キ 記入誤りを訂正する場合は、二重線を引き、その上に押印してから余白に記入してください(修正ペン、修正テープは使用不可)。

(2) 震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

記載にあたっては「記載例」をよく読み、あてはまる被災状況にすべてにチェックをつけてください。

(3) 被災状況を証する書類(被災状況に応じて、次の書類を1項目分だけ添付してください。)

被災状況	必要書類(※いずれも写しで可)
ア 自宅被害(全壊・半壊等) ※ 一部損壊は対象外	罹災証明書(被災証明書は不可)
イ 警戒区域又は計画的避難区域に居住して避難した場合	被災証明書又は罹災証明書
ウ 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して避難した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災証明書又は罹災証明書 ・ 特定避難勧奨地点に指定された地点に居住して避難した場合は、その旨が確認できる書類
エ 主たる生計支持者の死亡等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災証明書又は罹災証明書 ・ 重篤な障がい・疾病を負った場合 医師の診断書、障害者手帳等、状況が確認できる書類をいずれか一つ(死亡・行方不明の場合は特に不要)
オ 主たる生計支持者の収入の著しい減少(失業又は50%程度以上の収入の減少し、その後も状況が改善していない)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災証明書又は罹災証明書 ・ 平成23年度～平成28年度の所得証明書(6年分) ※平成22年分～平成27年分の所得証明書となります ・ 失業の場合 解雇通知、雇用保険受給資格者証、雇用保険被保険者離職票等、失業が確認できる書類をいずれか一つ ・ 収入減の場合 震災前後の給与明細等、収入減が確認できる書類

(4) 住民票謄本(本籍が記載されている世帯票)

※ 同一生計の方全員分です。別居している方も提出になります。

- ※ マイナンバー（個人番号）の記載のないものを提出してください。やむを得ず、マイナンバーが記載されたものを受理する場合、個人番号部分を復元できない程度マスキング（黒塗り）した上で提出してください。
- ※ 申請者本人が保護者と別居し、かつ、住民票と異なる住所に居住している場合は、必ず「居住証明書」を提出してください。任意様式で構いませんが、無い場合は巻末の様式をコピーし、居住先の管理者から証明を受けてください。
- ※ 提出された住民票で罹災・被災証明書の住所が確認できない場合は、生徒本人の戸籍附票を添付ください。

(5) 口座振替による支払申出書(ゆうちょ銀行の場合は見開き1ページ目のコピーを必ず添付)

- ※ 氏名、住所等は、住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。
- ※ 奨学生本人名義の口座を記入してください
(保護者名義の口座、本人名義でも貯蓄口座は、使用不可です。)
- ※ 金融機関の確認印を忘れずに受けてください。
(金融機関の確認を受けることが出来ない場合と、口座番号の訂正があった場合は、必ず通帳のコピーを添付してください。)

(6) 誓約書

- ※ 奨学資金申請者が記入・押印してください。
- ※ 本籍及び現住所は「1. 福島県奨学生願書」と同様、住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。

Ⅶ 選考及び奨学生の決定

- 1 選考にあたっては、提出された願書及びその他の書類を審査して、採否を決定します。
- 2 奨学生の決定は、在学する学校を経由し、本人に通知します。

Ⅷ 奨学資金の振込

採用者の奨学資金は、「口座振替による支払申出書」で届けられた本人名義の口座に、前期分（平成28年4月～9月分）を平成28年9月末に、後期分（平成28年10月～平成29年3月分）を平成29年1月末に振り込みます。振込日は、採用決定通知時にお知らせします。

参考 奨学資金の返還免除（→P.7）

東日本大震災特例採用により貸与した奨学資金については、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込みが次の各区分に定める額未満の場合は、願出により返還義務が全額免除されます。

- | | |
|--|---------|
| (1) 高等学校又は専修学校（高等課程）を卒業した場合（(2)、(3)を除く。） | 330万円未満 |
| (2) 短期大学、専門学校又は専修学校（専門課程）に進学し卒業した場合 | 360万円未満 |
| (3) 大学又は大学院に進学し卒業した場合 | 390万円未満 |

2 推薦について

推薦にあたっては、推薦基準の各項目のほか、次の点に注意してください。

○ 本人については、途中で学業を放棄することがないと思われる者であること。

(本県奨学生に採用後に退学した場合、奨学資金は廃止となり、貸与を受けた奨学資金について、返還免除は適用されませんので御注意ください。)

○ 他の貸与型奨学金を受けていないこと。

(本県奨学生に採用後に発覚した場合は、奨学生決定当初に遡及して奨学生を取り消します。)

I 推薦基準

1 学力について

高等学校又は専修学校の高等課程に在学している者で勉学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると当該学校長が認める者。

2 家計について

東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当する事由で家計が急変したことにより修学が困難であり、緊急に奨学金の貸与が必要であると当該学校長が認める者。

- ① 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合
- ② 警戒区域又は計画的避難区域内に居住していて避難した場合
- ③ 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住していて市町村の判断により避難した場合
- ④ 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合
- ⑤ 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合
- ⑥ その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合

3 願書・推薦調書の作成について

I 奨学生願書

- 1 願書については、記載例どおり正しく記入されているかどうかを確認してください。
- 2 記入漏れ、判読困難などの不備のある願書は、判定材料を欠くものとして選考から除外されることがあります。
- 3 採用決定後でも、記入内容が故意に事実と相違して記入されていることが判明した場合には、採用を取り消す場合があるので、ありのままを記入するよう指導してください。
- 4 申請者の記入した事項を点検して、その記入事項に誤りがあるときは、申請者に訂正させた上、訂正印を押させてください（修正液、テープは不可）。

II 推薦調書

- 1 推薦調書は、在学する学校側において作成することになるので、誤りや記入漏れのないように正確に記入してください。
- 2 出身学校の成績、在学学校の成績の欄は記入不要です。
- 3 「推薦所見」の欄には、申請者の学力、人物、家庭状況の観点から記入してください。
- 4 「参考事項」の欄には、特記すべき事項があれば、記入してください。

4 返還免除までの手続き

I 返還免除までの手続き

主な手続きは次のとおりです。詳しくは、貸与決定時に「奨学生のしおり」をお渡しします。

【在学中の生徒】

- 1 状況が改善せず、翌年度も貸与継続を希望する場合は、在学する学校を通じて「福島県奨学資金震災特例採用継続願」及び必要書類を県教育委員会に提出（※平成29年度以降の本奨学金の実施については未定のため、改めてお知らせします。）
- 2 継続を希望せず、貸与が終了となった場合は、在学する学校を通じて「借用証書」、「返還明細書」、「返還猶予願」及び在学証明書を県教育委員会に提出

【卒業する生徒】

- 3 卒業前に、在学する学校を通じて「借用証書」及び「返還明細書」を県教育委員会に提出
- 4 上級学校等に進学した場合は、「返還猶予願」及び在学証明書を県教育委員会に提出
- 5 卒業後（上級学校等に進学した場合はその卒業後）に、本人の1年間の収入見込額がわかる書類（例：勤務先の証明を受けた給与等見込証明書）を添えて「返還免除願」を県教育委員会に提出

II 奨学資金の返還猶予

- 1 在学中、奨学資金を必要としなくなったときは奨学資金を辞退することができます。この者が引き続き在学する場合は願出により卒業時まで返還が猶予されます。
- 2 上級学校に進学したときは願出により卒業時まで返還が猶予されます。
- 3 災害、疾病その他正当な事由のために返還が困難になった場合は、願出により返還が猶予されることがあります。

※ いずれの場合も、猶予の申請は納期限を過ぎると受付できませんので、すみやかに申請してください。

III 奨学資金の返還免除

東日本大震災特例採用により貸与した奨学資金については、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込みが次の各区分に定める額未満の場合は、願出により返還義務が全額免除されます。

- | | |
|--|---------|
| (1) 高等学校又は専修学校（高等課程）を卒業した場合（(2)、(3)を除く。） | 330万円未満 |
| (2) 短期大学、専門学校又は専修学校（専門課程）に進学し卒業した場合 | 360万円未満 |
| (3) 大学又は大学院に進学し卒業した場合 | 390万円未満 |

第1号様式(第1条関係)

(表)

福 島 県 奨 学 生 願 書		※受 付 号							
		※法 定 号		高・大 第 号					
		ふりがな				性別			
		氏 名							
		生年月日		年 月 日(満 歳)					
在 学 校	立	本 籍							
	部 科 学年	現 住 所		電話番号 ()					
同上の 所在地	電話番号 ()	希 望 事 項		貸与月額 円					
				貸与期間 年 月から 年 月まで					
				大学等入学一時金 円					
家 族 の 状 況	氏 名 (生計維持者と別居している者にはX印をつけること。)	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 在 学 先	疾病の 有 無	収入(税込) 額 千円	所得(税込) 額 千円	※
	1	本人							
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
計 名									
連 帯 保 証 人	ふりがな			ふりがな					
	氏 名			氏 名					
	生年月日	年 月 日(満 歳)		生年月日		年 月 日(満 歳)			
	本人との 続 柄		年間収入 (税込) 千円	本人との 続 柄			年間収入 (税込) 千円		
	本 籍			本 籍					
	現 住 所	電話番号 ()		現 住 所		電話番号 ()			

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

(裏)

参 考 事 項	奨学金を希望する理由				
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有・無	修学のための資金の名称		資金の種類
					貸与・給付
					貸与・給付
	本人の履歴	年 月 日	履 歴		
		年 月 日	立 中学校入学		
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
年 月 日					
年 月 日					
1カ月当たりの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考
	家 庭 か ら	円	生 活 費	円	
	アルバイト等から	円	交 通 費	円	
	県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円	
	そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円	
			そ の 他	円	
	計	円	計	円	
<p>以上の記載事項に相違ありません。</p> <p>奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。</p> <p>上記のとおり保証人と連署して誓約します。</p> <p>年 月 日</p> <p>福島県教育委員会教育長</p> <p style="text-align: right;">申請者 (自筆) ㊟</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人 (自筆) ㊟</p> <p style="text-align: right;">保証人 (自筆) ㊟</p>					

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

※受付番号		高・大 第 号																																																																																									
※決定番号		ふくしま たろろ																																																																																									
ふりがな		福 島 太 郎																																																																																									
氏 名		福 島 太 郎																																																																																									
生年月日		平成〇年〇月〇日(満16歳)																																																																																									
本 籍		福島県福島市杉妻町2番16号																																																																																									
現住所		福島市杉妻町2番16号 県営杉妻団地A棟201号室 電話 024(XXXX)XXXX																																																																																									
希望事項		貸与月額 18,000円 貸与期間 平成28年 4月から 平成29年 3月まで 大学等入学一時金 円																																																																																									
奨学生願書		△▽県立 ▲▽▲高等学校 普通科 1 学年 全日制 電話番号は必ず記入 (高等学校等の所在地を記入)																																																																																									
同士の所在地		△▽県立 ▲▽▲高等学校																																																																																									
家族の状況		<table border="1"> <tr> <th>氏名</th> <th>続柄</th> <th>年齢</th> <th>職業</th> <th>勤務先</th> <th>疾病の有無</th> <th>収入(税込)金額 千円</th> <th>所得(税込)金額 千円</th> </tr> <tr> <td>1 福島太郎</td> <td>本人</td> <td>16</td> <td>高校1年</td> <td>▲▽▲高校</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 大介</td> <td>父</td> <td>45</td> <td>会社員</td> <td>株〇〇〇〇</td> <td>無</td> <td>3,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 花子</td> <td>母</td> <td>43</td> <td>パート</td> <td>株〇〇〇〇</td> <td>無</td> <td>1,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 一郎</td> <td>兄</td> <td>18</td> <td>専門課程1年</td> <td>〇〇専門学校</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 たえ</td> <td>祖母</td> <td>70</td> <td>無職</td> <td></td> <td>有</td> <td>520</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		氏名	続柄	年齢	職業	勤務先	疾病の有無	収入(税込)金額 千円	所得(税込)金額 千円	1 福島太郎	本人	16	高校1年	▲▽▲高校	無			2 大介	父	45	会社員	株〇〇〇〇	無	3,400		3 花子	母	43	パート	株〇〇〇〇	無	1,200		4 一郎	兄	18	専門課程1年	〇〇専門学校	無			5 たえ	祖母	70	無職		有	520		6								8								9								10								計	5名						
氏名	続柄	年齢	職業	勤務先	疾病の有無	収入(税込)金額 千円	所得(税込)金額 千円																																																																																				
1 福島太郎	本人	16	高校1年	▲▽▲高校	無																																																																																						
2 大介	父	45	会社員	株〇〇〇〇	無	3,400																																																																																					
3 花子	母	43	パート	株〇〇〇〇	無	1,200																																																																																					
4 一郎	兄	18	専門課程1年	〇〇専門学校	無																																																																																						
5 たえ	祖母	70	無職		有	520																																																																																					
6																																																																																											
8																																																																																											
9																																																																																											
10																																																																																											
計	5名																																																																																										
連帯保証人		<table border="1"> <tr> <th>氏名</th> <th>生年月日</th> <th>続柄</th> <th>年齢</th> <th>職業</th> <th>勤務先</th> <th>収入(税込)金額 千円</th> <th>所得(税込)金額 千円</th> </tr> <tr> <td>福島大介</td> <td>昭和〇〇年〇月〇日(満45歳)</td> <td>父</td> <td>45</td> <td>会社員</td> <td>株〇〇〇〇</td> <td>3,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福島太郎</td> <td>平成〇〇年〇月〇日(満16歳)</td> <td>本人</td> <td>16</td> <td>高校1年</td> <td>▲▽▲高校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		氏名	生年月日	続柄	年齢	職業	勤務先	収入(税込)金額 千円	所得(税込)金額 千円	福島大介	昭和〇〇年〇月〇日(満45歳)	父	45	会社員	株〇〇〇〇	3,400		福島太郎	平成〇〇年〇月〇日(満16歳)	本人	16	高校1年	▲▽▲高校																																																																		
氏名	生年月日	続柄	年齢	職業	勤務先	収入(税込)金額 千円	所得(税込)金額 千円																																																																																				
福島大介	昭和〇〇年〇月〇日(満45歳)	父	45	会社員	株〇〇〇〇	3,400																																																																																					
福島太郎	平成〇〇年〇月〇日(満16歳)	本人	16	高校1年	▲▽▲高校																																																																																						

「本籍、現住所」は「住民票謄本の記載どおり正確に記載してください」(連帯保証人が福島県内)
 ※記入例 謄本記載が△市△面△番△地の△号の場合
 △△△△△市△△△△△区△△△△△番△△△△△地△△△△△号
 △△△△△市△△△△△区△△△△△番△△△△△地△△△△△号

「家族」は本人と同一生計者全員を記入してください。
 別居している者(家族の所在地と異なる者)には、番号に×印をつけてください。

「年齢」は申込時現在で記入。

「連帯保証人」は原則として福島県内に住所を有する保護者。

日中連絡可能な電話番号を記入

「貸与月額」は該当する金額を記入してください。

国公立	私立
18,000円	30,000円
自宅外	35,000円
23,000円	

貸与期間は平成28年度中の希望する月を記入してください。(最長12カ月)

「職業」は学生の場合は「〇〇1年(専修学校の場合は〇〇課程1年)など学年まで、無職の場合は「無職」と具体的に記入してください。

避難等で、住民票住所と実際の住所が異なる場合は、余白に現在居住している住所と〒を記入してください。(本人と連帯保証人)

本人・連帯保証人の実住所 〒960-1111 福島県郡山市麓山1-1コーポハヤマ103号

奨学生願書(裏)の記載例【震災特例】

今年度貸与または申請中の奨学金名を記入して、奨学金の種類を○で囲んでください。
※「高校生等奨学給付金」は記入不要。

中学校入学から現在までの状況を記入してください。

記入日を忘れずに

奨学金を希望する理由	例) 東日本大震災で自宅が全壊したことにより、家計の支出が著しく増大したため。 東日本大震災で自宅及び父の勤務先が原発事故の警戒区域となり、父が失業。現在は〇〇市に家族で避難しているが、家計が苦しいため。		
	現在受けている、又はこれから受けたい奨学金の種類	東日本大震災で被災した状況と現在の家計状況を簡潔に記入してください。	
参加	修学のための資金の名称	奨学金の種類	
	〇〇市奨学金(申請中)	給付 貸与 給付 貸与 給付	
本人の履歴	年月日	履	
	H25年4月〇日	〇〇市立 〇〇中学校入学	
	H27年9月〇日	□□市立 □□中学校転学	
	H28年3月〇日	□□市立 □□中学校卒業	
	H28年4月〇日	△△県立 △△高等学校入学	
備考	年月日		
	年月日		
収入	収入	支出	備考
	家庭から	生活費	円
	アルバイト等から	交通費	8,700円
	果実学資金から	学校納付金	9,300円
	その他から	書籍・学用品	5,000円
	計	計	23,000円
	計	計	23,000円

以上の記載事項に相違ありません。奨学生として採用された場合は、福島県奨学奨学生としての責務をはたすこととはもとより、上記のとおり保証人と連署して誓約します。

「収入計」＝「支出計」としてしてください。

収入計と支出計の差額が23,000円です。

収入金は除く。

必ず自筆で署名。
申請者(生徒)と連帯保証人は、別々の印鑑を押し直してください。(印影が不鮮明な場合は、余白に押し直し)

申請者 (自筆) 福島太郎
連帯保証人 (自筆) 福島大介
保証人 (自筆) 大

28年〇月〇日
福島県教育委員会教育長

福 島 県 奨 学 生 推 薦 調 書													
氏 名					在 学 学 校	立				部 制	科	年	
出身（在学） 学校の成績	教 科												
	年												
	年												
	教 科												成 績 平 均 値
	年												
	年												
推 薦 所 見 〔 学 力 〕 〔 人 物 〕 〔 家 庭 状 況 〕													
参 考 事 項	（在学学校の学業成績の席次 人中 位）												
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、 奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">学校長（学長）</p> <p>福島県教育委員会教育長</p>													
※ 判 定													

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

**在学する学校で
作成してください**

記入もれ注意。
全日制/定時制/通信制の記入
もお願いいたします。

「推薦所見」の欄は、申請
者の学力、人物、家庭状況等
の観点から記入してください。

「参考事項」の欄は、特に
なければ無記入で結構です。

日付、学校名、校長名の記
入と職印の押印を、忘れず
お願いします。

福島県奨学生推薦調書										
氏名	福島太郎		在学学校	〇〇県立 〇〇〇〇高等学校			部	〇〇科 1年		
出身（在学）学校の成績	教科	年	理科	社会	英語	音楽	美術	技術家庭	保健体育	
	教科	年	数学							
推薦所見	学力 人物 家庭状況									成績 平均値
参考事項	(在学学校の学業成績の順位 人中 位)									
上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、 奨学生として適当と認められず、推薦しません。										
平成〇〇年 〇月 〇日 △▽県立 ▲▽▲高等学校 学校長（学長） 福島県教育委員会教育長										
※ 判定										

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。



震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

福島県教育委員会教育長

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被災状況等については下記のとおりです。

平成 年 月 日

ふりがな 申請者氏名	
学校・学年	学校 年

あてはまる被災状況すべての口に✓をつけ、そのうち1項目分の証明書等(写しで可)を添付してください。

震災後の転居等	<input type="checkbox"/> 転居や避難なし <input type="checkbox"/> 転居や避難あり ※異動された市町村名を順に記入↓ ① ② ③ ④	
1	自宅被害 <input type="checkbox"/> 全壊又は半壊(一部損壊は対象外) <input type="checkbox"/> その他全半壊に準ずる被災()	震災証明書を添付
2	<input type="checkbox"/> 警戒区域又は計画的避難区域から避難	震災証明書又は被災証明書を添付 <small>※特定避難勧奨地点の場合は、その旨確認できる書類を添付してください。</small>
3	<input type="checkbox"/> 緊急時避難準備区域又はその他()から避難	
4	主たる生計維持者の死亡等 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 行方不明 <input type="checkbox"/> 重篤な障がい・疾病 父 母 その他()	震災又は被災証明書を添付 <small>※重篤な障がい・疾病を負った場合は、診断書等も添付してください。</small>
5	主たる生計維持者の収入の著しい減少 <input type="checkbox"/> 著しく減少し改善していない(目安50%以上の減少) 震災前の年収(円) ※税等控除前の額 震災後の年収(円) ※税等控除前の額 自 営 (業 種:) 自営以外 (勤務先:) 失 業 (離職年月日:) 世帯全体の収入の状況	震災又は被災証明書を添付 <small>※この項目だけで申請される方のみ、平成23年度～平成28年度の6年間分の所得証明書(原本)と、失業や収入減が確認できる書類も添付してください。</small>
6	学校長が特に経済的支援を必要と認める場合の理由 上記項目以外の特記事項があれば記入してください。	

学校 長 証 明	上記のとおり相違ありません。 平成 年 月 日 学校名 学校長 印
-------------------	--

震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

福島県教育委員会教育長

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被災状況等については下記のとおりです。

平成28年 ○ 月 ○ 日

ふりがな 申請者氏名	福島 太郎
学校・学年	△▽ 県立 ▲▽▲高等 学校・1 年

あてはまる被災状況すべての□に✓をつけ、そのうち1項目分の証明書等(写しで可)を添付してください。

震災後の転居等	<input type="checkbox"/> 転居や避難なし <input checked="" type="checkbox"/> 転居や避難あり ※異動された市町村名を順に記入↓ ① 新潟市 ② 福島市 ③ ④	
1 自宅被害	<input checked="" type="checkbox"/> 全壊又は半壊 (一部損壊は対象外) <input type="checkbox"/> その他全半壊に準ずる被災(罹災証明書を添付
2 避難区域に指定され避難した	<input checked="" type="checkbox"/> 警戒区域又は計画的避難区域から避難	H23当時の区域が不明の時は、被災当時の市町村には、被災当時の市町村に お尋ねください。
3	<input type="checkbox"/> 緊急時避難準備区域又はその他() から避難	被災した避難先地点の場合は、その旨確認できる書類を添付してください。
4 主たる生計維持者の死亡等	<input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 行方不明 父 母 其他() <input type="checkbox"/> 重篤な障がい・疾病	罹災又は被災証明書を添付 ※重篤な障がい・疾病を負った場合は、診断書等も添付してください。
5 主たる生計維持者の収入の著しい減少	<input type="checkbox"/> 著しく減少し改善していない (目安50%以上の減少) 震災前の年収 () 円 ※税等控除前の額 震災後の年収 () 円 ※税等控除前の額 自 営 (業 種:) 自営以外 (勤務先:) 失 業 (離職年月日:) 世帯全体の収入の状況	罹災又は被災証明書を添付 ※この項目だけで申請される方のみ、平成23年度～平成28年度の6年間分の所得証明書(原本)と、失業や収入減が確認できる書類も添付してください。
6 学校長が特に経済的支援を必要と認める場合の理由	上記項目以外の特記事項があれば記入してください。	
		事前に相談ください。

学校長証明	上記のとおり相違ありません。 平成 28年 ○ 月 ○ 日 学校名 △▽県立 ▲▽▲高等 学校 学校長 ○○ ○○	学校長印
-------	--	------

「学校長証明」は在籍している学校で、記入と職印の押印をお願いします。

口座振替による支払申出書〔債権者登録(変更)申請書〕

【福島県奨学資金震災特例用】

福島県財務

区分		処理	債権者コード			
4	0	1				

C# 注：姓と名の間は1文字あけて記入してください

フリガナ																	
生徒氏名																	
フリガナ																	
氏名2																	

C# 執行機関 会社区分 住所コード 郵便番号

フリガナ																	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

注： 都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目（県外の場合は区市町村まで）を記入してください

住民票住所

都 道 府 県																	
フリガナ																	
注： 番地を省略せず記入してください（県外の場合は大字以下の住所を記入願います）																	
フリガナ																	
注： ビル名、アパート名等を記入してください																	
方 書																	

C# 支払方法

注： 市外局番からハイフンつけて記入してください																	
1. 口座振替																	
金融機関名																	
金融機関コード																	
店舗名																	
口座番号(右づめ)																	

C# 預金種別 (※ 貯蓄口座は利用できません)

注： 普通預金 又は 総合口座																	
1. 普通預金 又は 総合口座																	
口座名義人 (カナ)																	

備考

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

執行機関名 高校教育課

決定番号															
28特例第 号															
学校名															

記入上の注意

- 1 色のついた欄を記入ください。
- 2 生徒の住民票住所を記載通り、そのまま写してください。
- 3 右下の生徒署名/日付/捺印のもれに注意。
- 4 振込についての連絡先電話番号を記入。

※ 金融機関へのお問い合わせ
 金融機関は、左記の金融機関名、店舗名、金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ) について確認及び記入のうえ下記確認欄に確認印を押印願います。

金融機関確認欄	
確認日	
金融機関名	
店舗名	
確認者印	

福島県知事
 上記のとおり申請します

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のコピー(A4用紙)を必ず添付してください。(金融機関確認は不要)
 ※ ゆうちょ以外の金融機関は、通帳(銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁)のA4コピーを添付か、又は各金融機関での確認を受けてください。

平成 年 月 日
 氏名 印

区分	処理	債権者コード
4	0	1

<記載例>

注：姓と名の間は1文字あけて記入してください

C#	フリガナ	氏名	フリガナ	氏名
2	フクシマ タロウ	福島 太郎	フクシマ タロウ	福島 太郎

注：郡道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目 (県外の場合は区市町村まで) を記入

C#	フリガナ	住所	郵便番号
1	フクシマ	福島市杉妻町	960-8688

注：番地を省略せず記入してください (県外の場合は大字以下の住所を記入願います)

C#	フリガナ	番地
2	フクシマ	2番地の16号

注：ビル名、アパート名等を記入してください

C#	フリガナ	方書
3	ケンエイ	ケンエイスギツマダンチエートウ201号室

支払方法

C#	1	口座振替
----	---	------

金融機関名 店名 金融機関コード

1	東邦銀行	県庁支店	
---	------	------	--

預金種別 (※ 貯蓄口座は利用できません)

1	1	普通預金 又は 総合口座
---	---	--------------

口座番号 (右つめ)

0	0	9	9	9	9
---	---	---	---	---	---

口座名義人 (カナ)

フ	ク	シ	マ	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---

執行機関名 高校教育課

決定番号	28
特例第号	号

学校名

▲▽▲ 高等学校

記入上の注意

- 色のついた欄を記入ください。
- 生徒の住民票住所を記載し、そのまますべて記入してください。
- 右下の生徒署名/日付/捺印のものを注意。
- 振込についての連絡先電話番号を記入。

日中連絡可能な電話番号を記入。

番からハイフンつけて記入してください

0	9	0	-	1	2	3	4	-	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

「住所 番地 方書」は、住民票とおりに記入されてますか？
特に「〇〇番地の〇号」の「番地」「の」「号」「建物名」は、記載をそのまま写してください！
誤→「△市△2-16」(簡略不可)

※ 金融機関コード欄に確認印を押し印してください

※ 矢印の先の ※ を読んで、必要な場合は、各金融機関で確認を受けてください。

確認日	
金融機関	
店舗	

金融機関確認欄

確認者印

生徒署名・捺印と日付記入を忘れずに！

福島県知事 上記のとおり申請します。

平成 28 年 〇 月 〇 日

氏名 福島 太郎 印

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のコピー(A4用紙)を必ず添付してください。(金融機関確認は不要)

※ ゆうちょ銀行以外の金融機関は、通帳(銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁)のA4コピーを添付、又は、各金融機関での確認を受けてください。

第3号様式

誓 約 書

私は、福島県奨学生として、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規定に従い、奨学生としての本分をつくすことを誓約します。

年 月 日

本籍地

本人 現住所

氏 名



福島県教育委員会教育長 様

居 住 証 明 書

※自宅外通学申請者
のみ提出ください

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

2 住居の所在地

3 居住の期間

年 月 日から現在（平成 年 月）まで

平成 年 月 日

証明者（住居の所有者又は貸主、学校寮は学校）

住所

氏名

印

福島県教育庁高校教育課

〒960-8688

福島県福島市杉妻町 2 番 16 号

電話番号 024(521)7775

FAX 024(521)7973

URL <http://www.koukou.fks.ed.jp/>